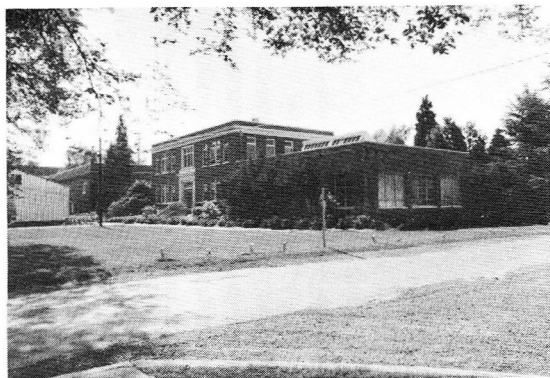


牧草園藝



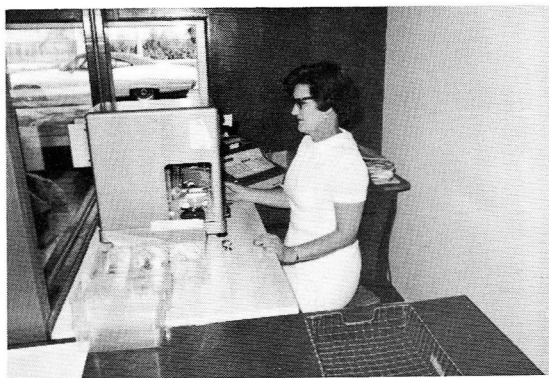
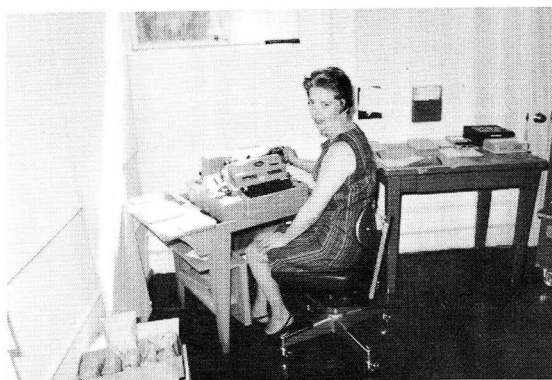
オレゴン大学種子検査室 (1)



種子検査を受けて合格するとブルータグ(青札)が付けられ証明種子として安心して取引が出来る。受検する種子のサンプルは先ず受付で必要なカード書類が作成される。

オレゴン州は牧草芝生等種子の生産量が多く世界に供給している。従ってその中心のオレゴン大学農学部附属種子検査室も世界中で最も権威のある一つである。

検査にたずさわる係員は殆んどが婦人で、熟練者ばかりである。



番号が付されたサンプルは秤量される。一般に種子の容積と重量の関係は決っているが年により稔りの場合で差異がある。勿論品種によっては非常に異なる。

秤量された種子サンプルは2分され $\frac{1}{2}$ で純度の検定をする。純度検査では発芽し得る正常種子が何%であるか夾雑物にはどんなものが含まれているかを調査する。

ここの施設は州立大学に附属しているが、人件費ほか大部分の経費は受検料でまかなわれている。

